

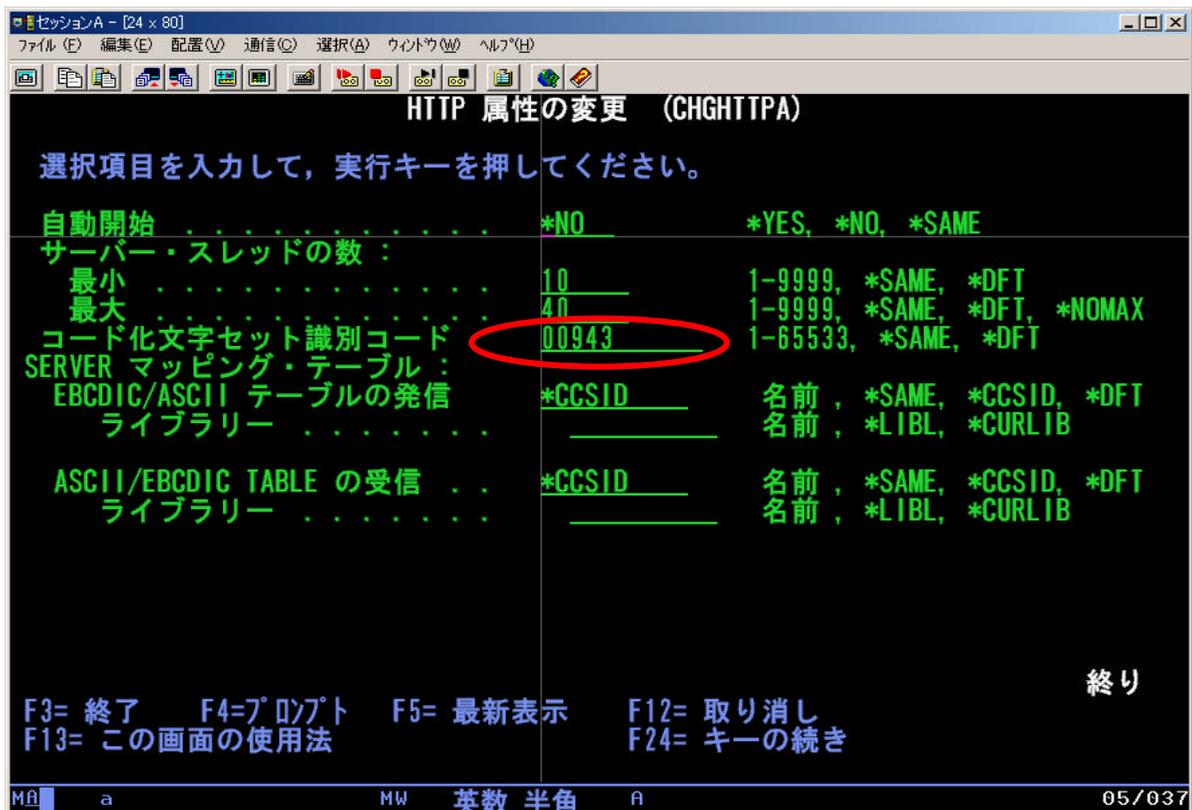
アパッチを使用したHTTPサーバーの作成

iSeriesタスクの起動

HTTPサーバーの設定は、ブラウザより行ないます。以下の手順にて準備してください。

1. HTTP属性の“コード化文字セット識別コード”が『00819』の場合は、『00943』に変更します。(次頁参照)
コマンド:CHGHTTPA
2. P - COM画面より、HTTPサーバーを起動し、サーバーインスタンス“ADM IN”を立ち上げます。
コマンド:STRTCPSVR SERVER(*HTTP) HTTPSVR(*ADMIN)
3. サーバーインスタンス起動後、ブラウザより iSeriesタスク画面を表示させます。
URLは iSeriesにて設定した Pアドレスと2001ポートを指定します。
URL :[http:// Pアドレス:2001/](http://Pアドレス:2001/)

HTTP属性の変更



コード化文字セット識別コードの初期値が『00819』なので、『00943』or『00932』に変更する

iSeriesタスク

The screenshot shows a Microsoft Internet Explorer window titled "iSeries タスク - Microsoft Internet Explorer". The address bar contains "http://XXXXXX2001/". The main content area displays the IBM logo and the title "iSeries タスク". Below the title, there is a list of tasks, each with an icon and a description:

- IBM Web Administration for iSeries**
HTTP サーバーとアプリケーション・サーバーの構成、およびアプリケーションのデプロイ
- iSeries Navigator URL Advisor**
OS/400 管理タスクを Web アプリケーションに追加する方法の習得
- デジタル証明書マネージャー**
デジタル証明書の作成、配布、および管理
- IBM Directory Server for iSeries**
IBM Directory Server の管理
- IBM IPP サーバー iSeries 用**
IBM IPP サーバーの構成
- iSeries Web-Based Help Server**
Administer the iSeries Web-based help server

The first task, "IBM Web Administration for iSeries", is circled in red. The status bar at the bottom indicates "ページが表示されました" and "インターネット".

HTTP サーバー管理 iSP3 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 検索 お気に入り メディア

アドレス(D) http://XXXXXXXX2001/HTTPAdmin

IBM Web Administration for iSeries

WebSphere IBM

セットアップ 管理 | 拡張 | 関連したリンク

▼ 共通タスクおよびウィザード

- HTTP サーバーの作成
- オリジナルの Apache へのマイグレーション

IBM Web Administration for iSeries

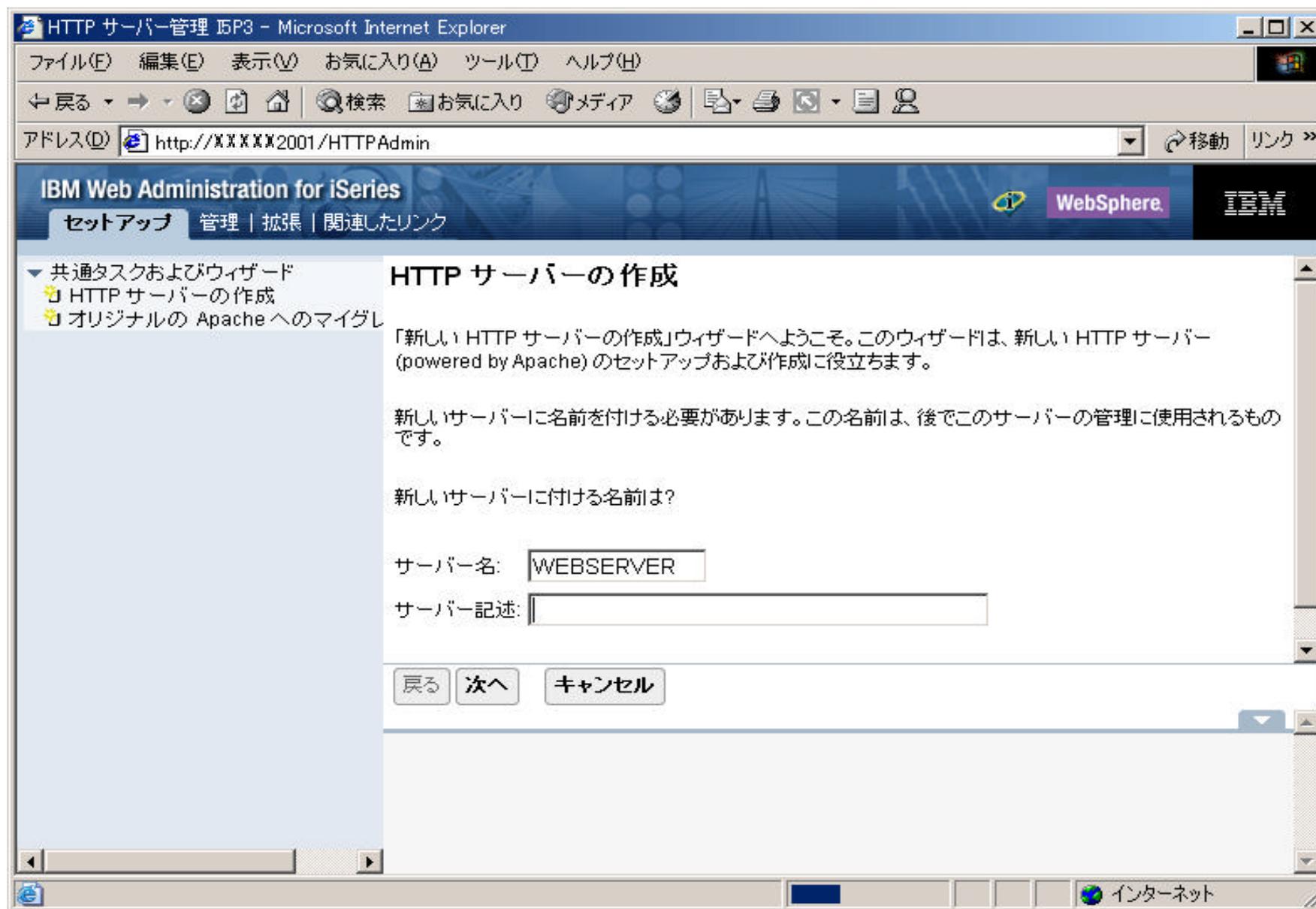
始めに - Web コンテンツの実行に必要なサーバーの作成およびその学習。

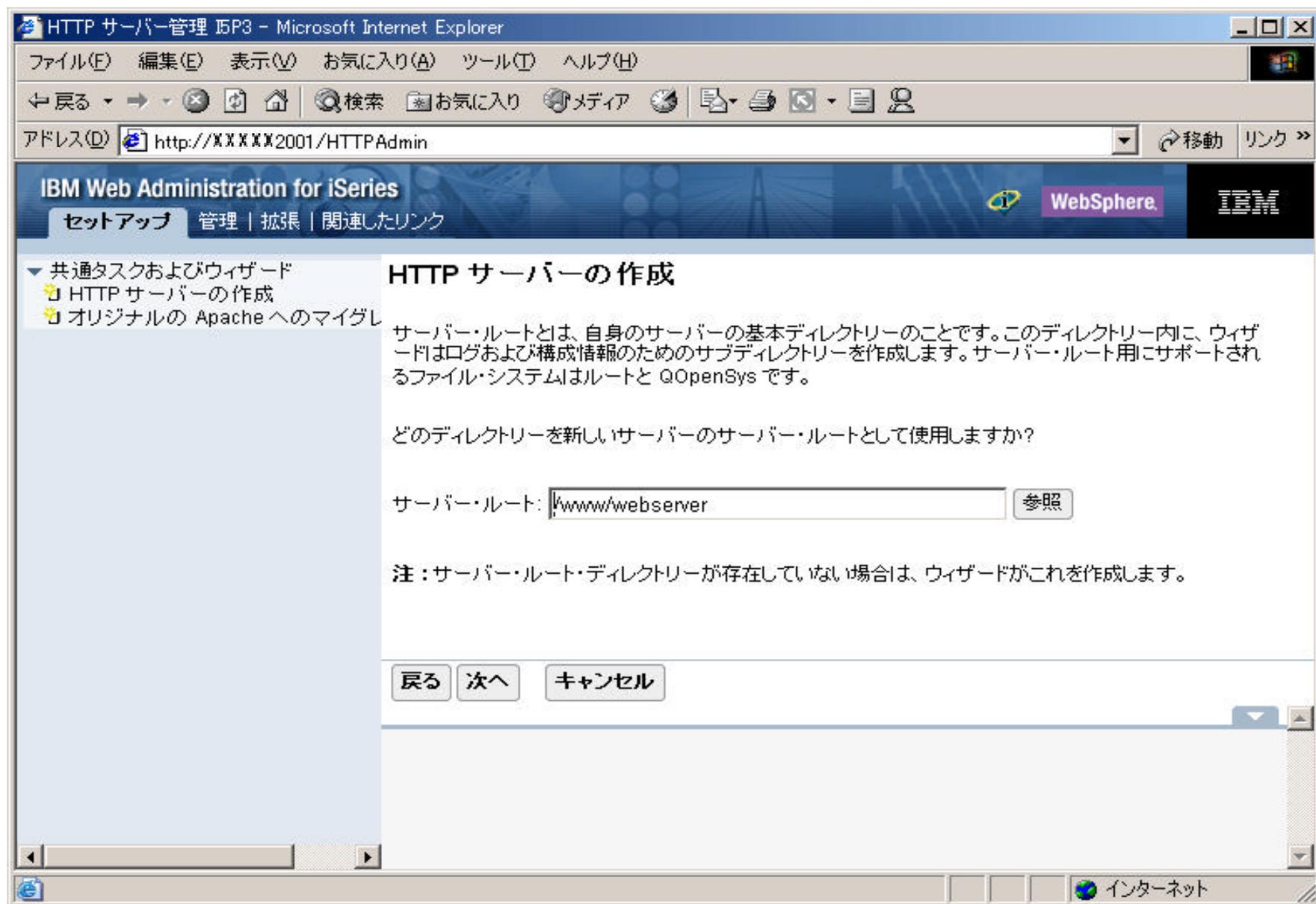
 **新規 HTTP サーバーの作成**

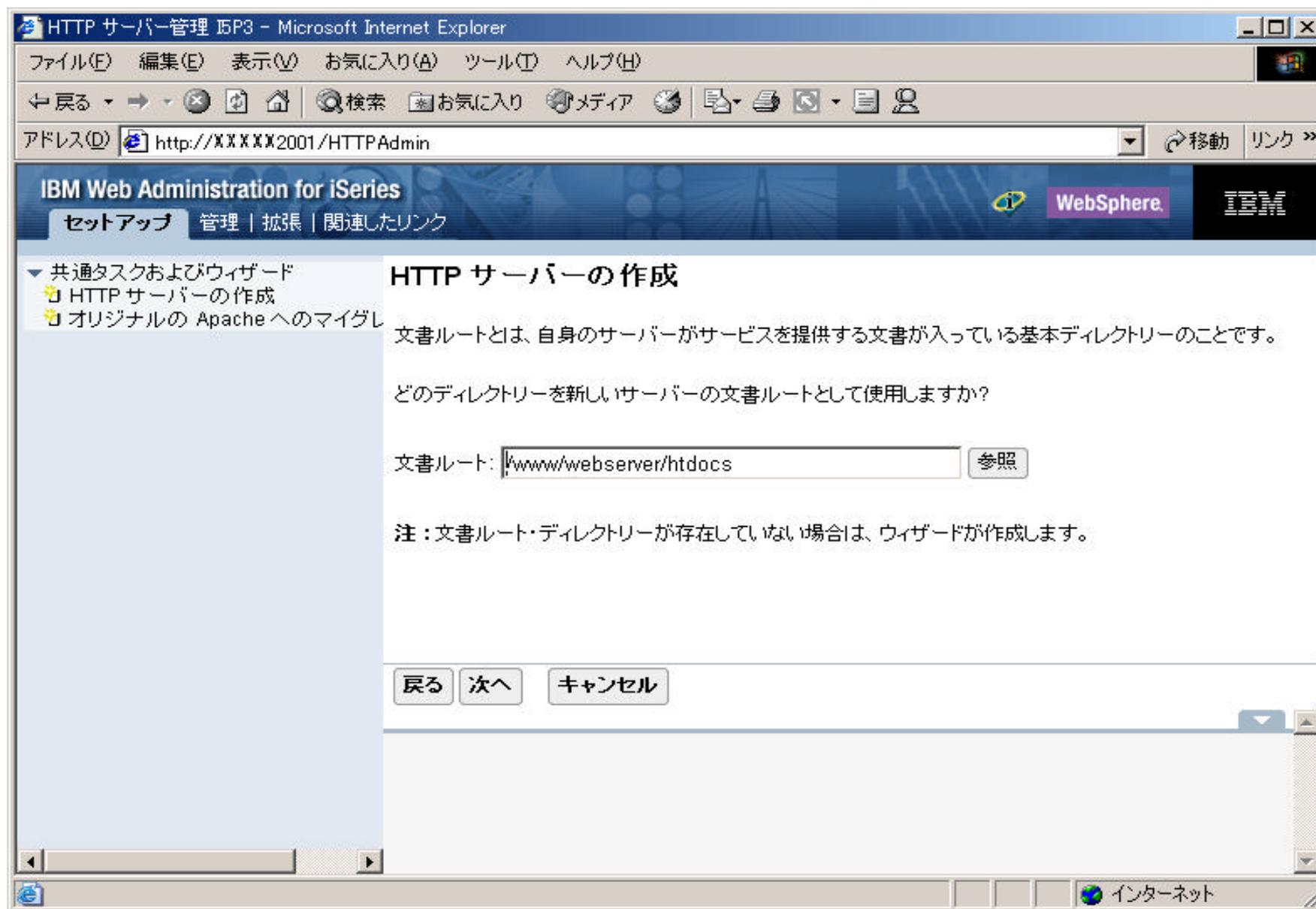
HTTP Web コンテンツを実行するための新規 HTTP サーバー (powered by Apache) を作成します。このウィザードは、単純な Web サービスを開始するために必要なすべてのものを作成します。

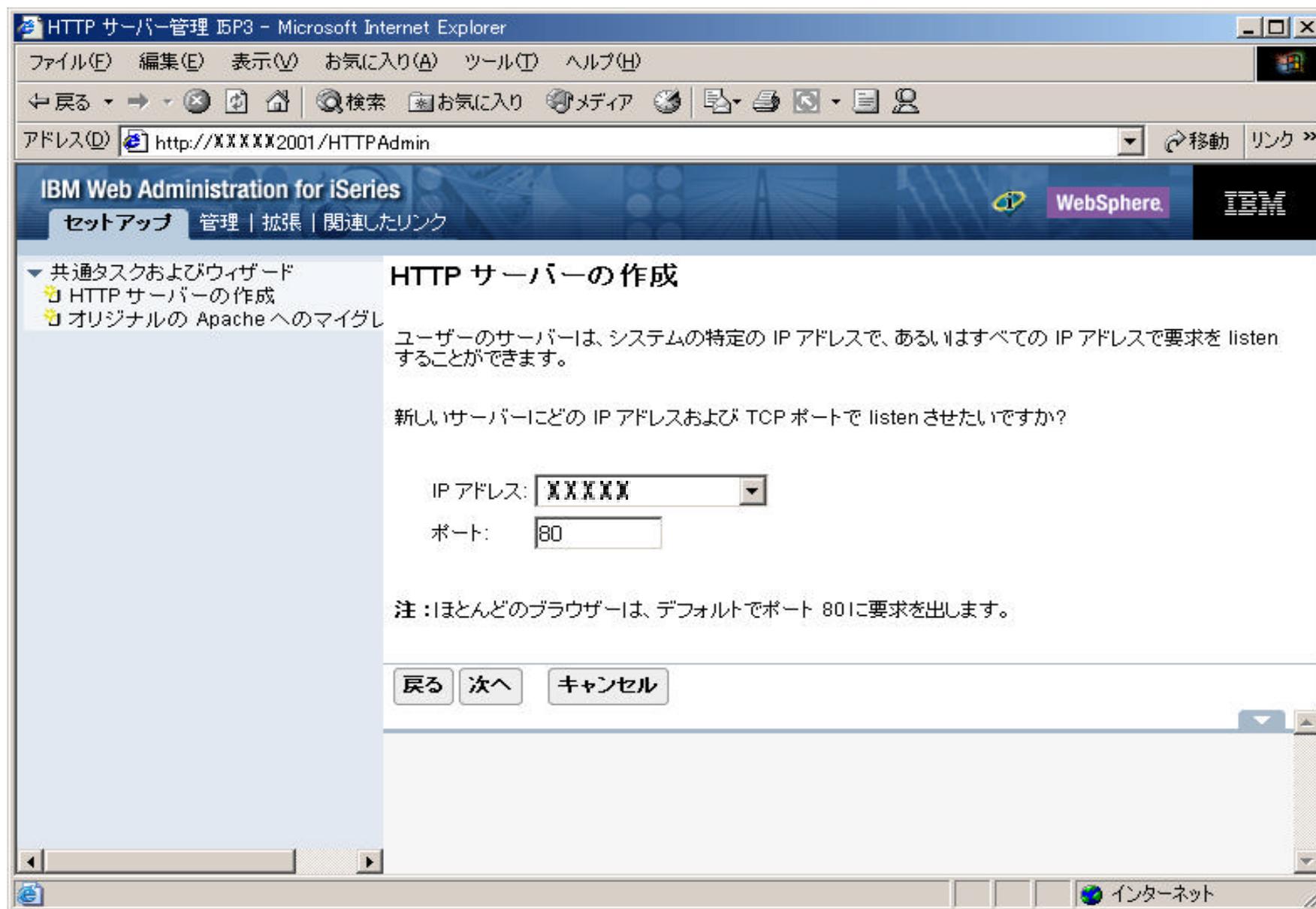
[情報の続き...](#)

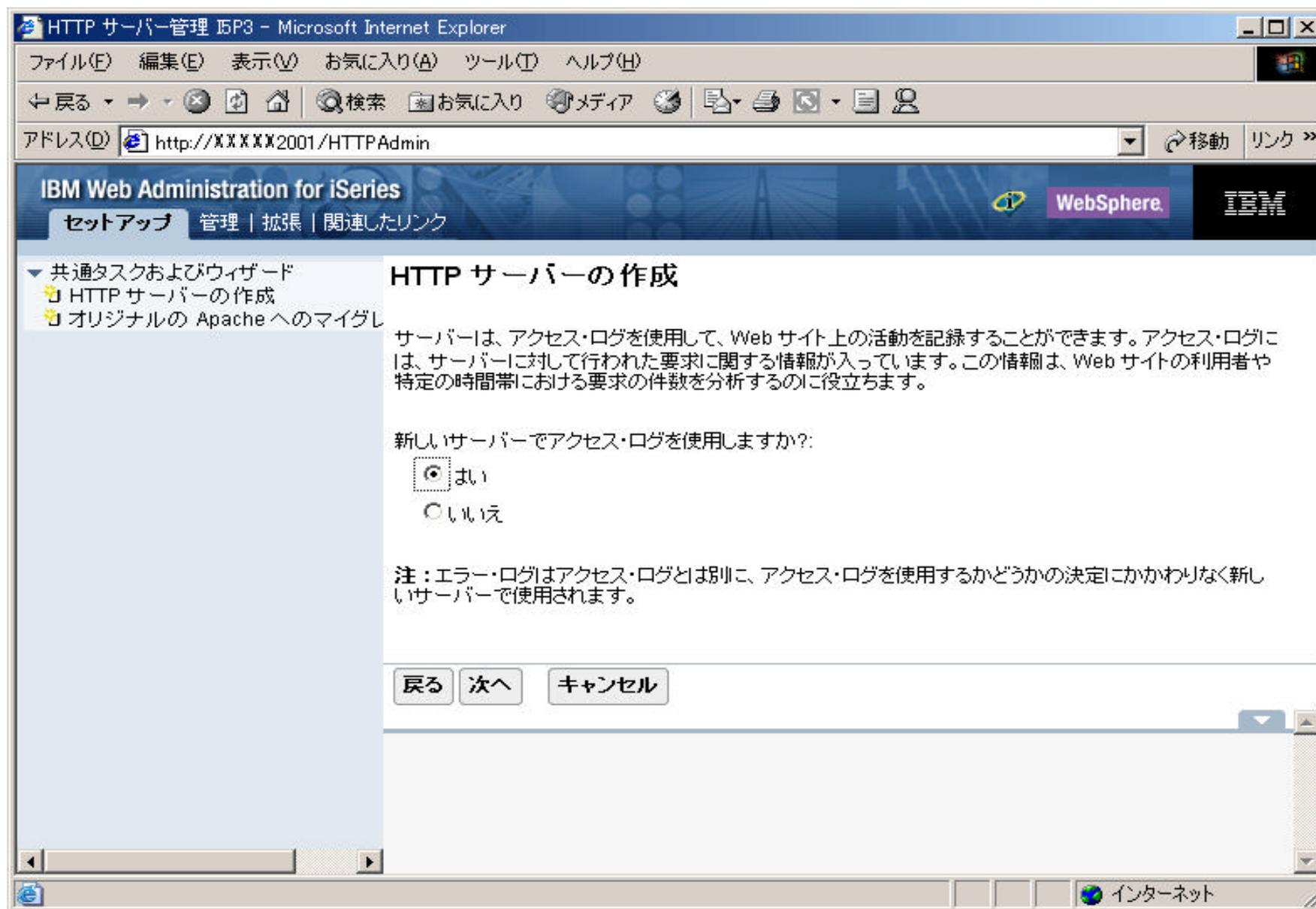
インターネット

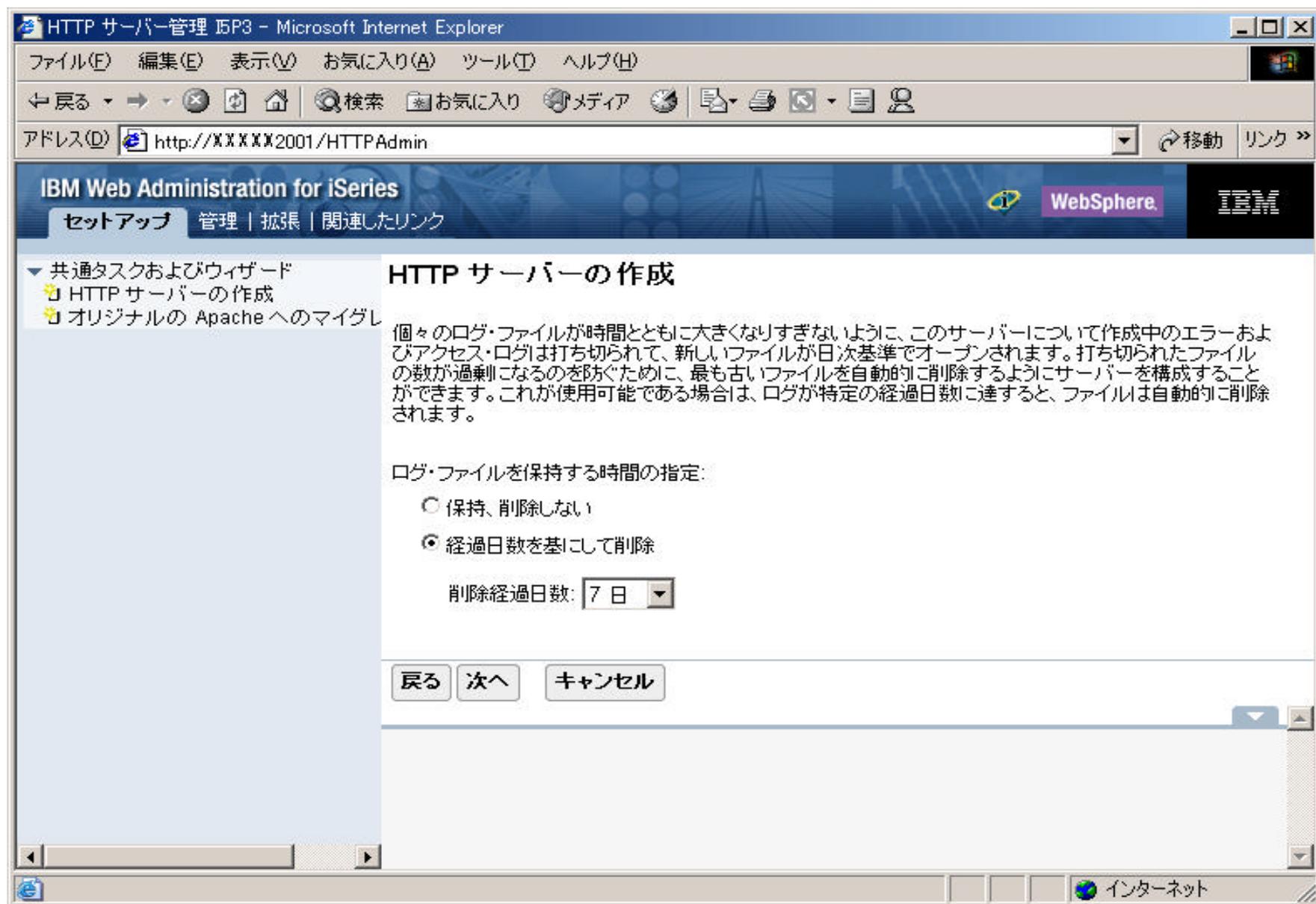


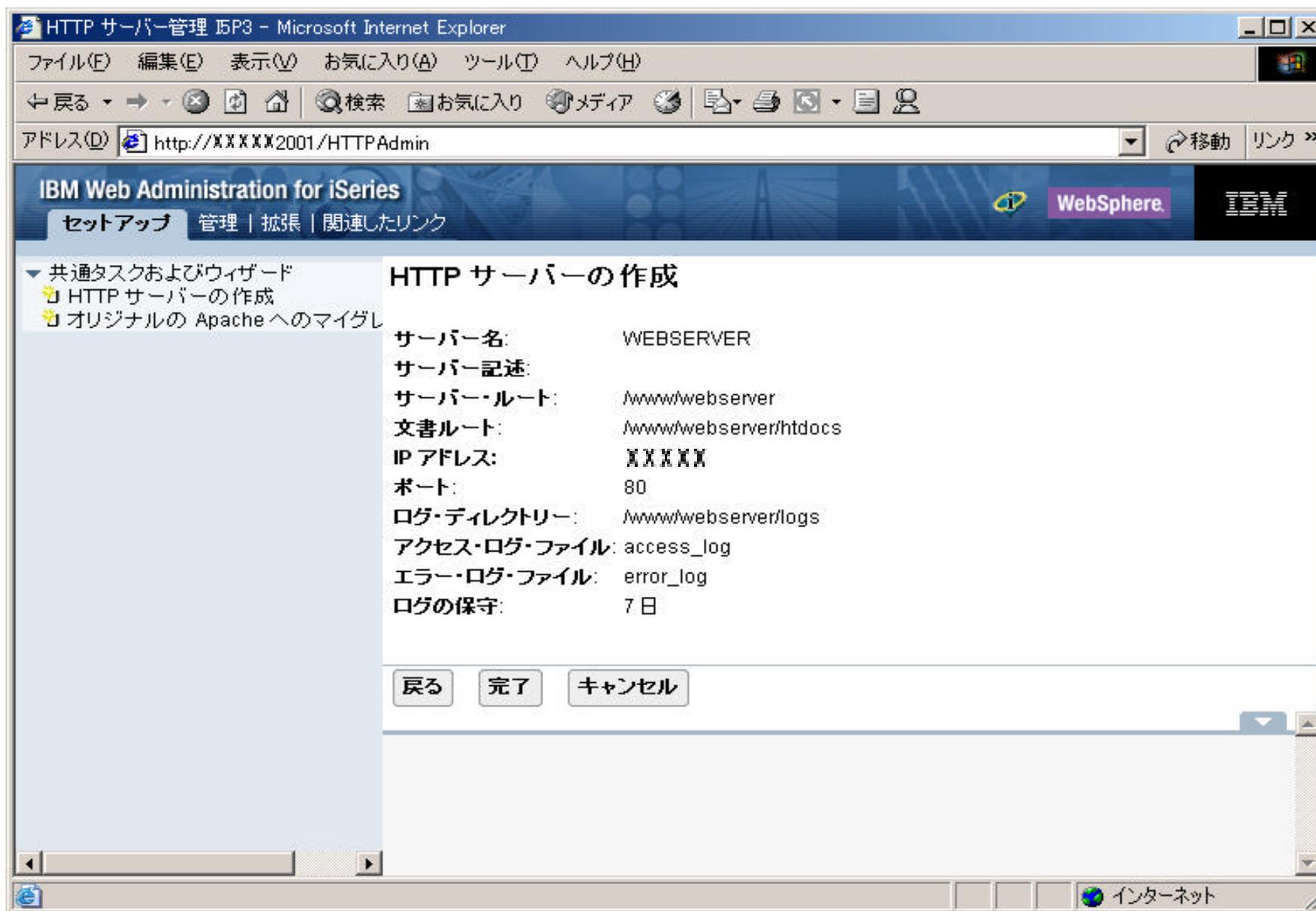












HTTP サーバー管理 iSP3 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り メディア

アドレス(D) http://XXXXXX2001/HTTPAdmin

IBM Web Administration for iSeries

WebSphere IBM

セットアップ 管理 拡張 | 関連したリンク

すべてのサーバー HTTP サーバー ASF Tomcatサーバー

停止済み 停止済み 停止済み 停止済み 停止済み 停止済み

サーバー: WEBSERVER - Apache サーバー・エリア: グローバル構成

Apache サーバー "WEBSERVER" の管理 (Apache/2.0.49)

サーバー WEBSERVER の記述がありません

HTTP サーバー (powered by Apache) 用の「IBM Web Administration for iSeries 管理」フォームへようこそ。これらのフォームを使用して、HTTP サーバー (powered by Apache) を迅速かつ容易にセットアップし、管理することができます。IBM HTTP Server for iSeries は、Web の存在を確立し、ビジネス用に Web で作業する行程を開始するために必要なすべてのものを備えています。

開始するには、「共通タスクおよびウィザード」の下の「新規 HTTP サーバーの作成」ウィザードを使用します。作業 HTTP サーバー (powered by Apache) を迅速に作成するには、ウィザードに段階的に従ってください。このウィザードが正常に完了すると、内部または外部のビジネス要件に使用できる HTTP サーバーを作成されます。

基本的なサーバー構成があれば、「サーバー・プロパティ」フォームを使用し、HTTP サーバー (powered by Apache) をビジネス要件に合うように調整します。

Web サービスがビジネス上の重要な側面である場合は、Web サーバー環境の高可用性およびスケー

- ▼ 共通タスクおよびウィザード
 - ▶ HTTP サーバーの作成
 - ▶ オリジナルの Apache へのマイグレーション
- ▼ HTTP タスクおよびウィザード
 - ▶ Web へのディレクトリーの追加
 - ▶ LDAP 構成
 - ▶ サブレットおよび JSP 使用可能にする
- ▼ サーバー・プロパティ
 - ▶ 一般サーバー構成
 - ▶ コンテナ管理
 - ▶ 仮想ホスト
 - ▶ URL マッピング
 - ▶ 要求の処理
 - ▶ HTTP 応答
 - ▶ コンテンツ設定
 - ▶ ディレクトリー処理
 - ▶ セキュリティー

ページが表示されました

インターネット

HTTPサーバーの基本設定は完了しましたが、実行パス等の設定を行なっていませんので次頁からは、以下の項目で必要と思われる最低限の設定を紹介します。

- ・一般サーバー構成
- ・コンテナ管理
- ・URLマッピング

詳細につきましては、BM等へお問合せください。

一般サーバー構成

HTTP サーバー管理 iSP3 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り メディア

アドレス(D) http://XXXXXX2001/HTTPAdmin

IBM Web Administration for iSeries

WebSphere IBM

セットアップ 管理 拡張 | 関連したリンク

すべてのサーバー HTTP サーバー ASF Tomcat サーバー

実行中 実行中 停止 更新

サーバー: WEBSERVER - Apache サーバー・エリア: グローバル構成

▼ 共通タスクおよびウィザード

- HTTP サーバーの作成
- オリジナルの Apache へのマイグレーション

▼ HTTP タスクおよびウィザード

- Web へのディレクトリーの追加
- LDAP 構成
- サーブレットおよび JSP 使用可能にする

▼ サーバー・プロパティ

- 一般サーバー構成**
- コンテナ管理
- 仮想ホスト
- URL マッピング
- 要求の処理
- HTTP 応答
- コンテンツ設定
- ディレクトリー処理
- セキュリティ

一般サーバー構成 ?

一般設定 ウェルカムページ 構成の組み込み 拡張

要求を処理する OS/400 ユーザー・プロファイル: [] ?

サーバー CCSID: 5035 または... [] ?

クライアント CCSID: 943 ?

サーバー記述の組み込み: [サーバーのみ]

OK 適用 キャンセル プレビュー

ページが表示されました インターネット

DefaultFsCCSIDやDefaultNetCCSIDは、サーバーCCSIDやクライアントCCSIDの設定にあたる

コンテナ管理 (ディレクトリー処理)

The screenshot shows the IBM Web Administration for iSeries interface. The left sidebar contains a tree view with the following items:

- Webへのディレクトリーの追加
 - LDAP 構成
 - サーブレットおよび JSP 使用可
- サーバー・プロパティ
 - 一般サーバー構成
 - コンテナ管理** (circled in red)
 - 仮想ホスト
 - URL マッピング
 - 要求の処理
 - HTTP 応答
 - コンテンツ設定
 - ディレクトリー処理
 - セキュリティ
 - 動的コンテンツおよび CGI
 - ログ
 - プロキシ
 - システム・リソース

The main content area shows the configuration for the 'Directory/Directory Match' container. It includes a table with the following data:

	タイプ	ディレクトリー・パスまたは式
例	ディレクトリー	/www
例	ディレクトリーの突き合わせ	*/www/*/{0-9}{3}
<input type="radio"/>	ディレクトリー	/
<input type="radio"/>	ディレクトリー	/www/webserver/htdocs
<input type="radio"/>	ディレクトリー	/QSYS.LIB/WRPGX2.LIB/ (circled in red)

Buttons at the bottom of the dialog include 'OK', '適用', 'キャンセル', and 'プレビュー'.

ディレクトリー処理のヘルプ

Directory/Directory Match コンテナー:これは、そのディレクトリーの名前付きディレクトリーとサブディレクトリーにのみ適用するディレクティブのグループを囲むのに使用されます。ディレクトリー・コンテナーで許可されたディレクティブが使用できます。

ディレクトリーでは、ワイルドカード・ストリングを使用しても使用しなくても、ディレクトリー・パスを指定できます。ワイルドカード・ストリングでは、`?` は単一文字と突き合わされ、`*` は一連の文字と突き合わされます。また、`[]` は文字範囲を使用することができます。どのワイルドカードも、`/` 文字とは突き合わされません。

例:

```
<Directory /usr/local/httpd/htdocs>
Options Indexes
FollowSymLinks
</Directory>
```

Directory Match は、Directory と同じですが、ここでは引き数が正規表現と見なされます。

例:

```
<DirectoryMatch "^/www/*/[0-9]{3}">
```

これによって、3つの数値で構成される /www/ 内のディレクトリーと突き合わされます。指定されたテーブルによって、ディレクトリー・パスおよび式を追加、除去、および編成することができます。

•**ディレクティブ:** <Directory> <DirectoryMatch>

•**タイプ:** コンテナーが <Directory> または <DirectoryMatch> であることを指定します。

デフォルト値は **Directory** です。このフィールドは必須です。

•**ディレクトリー・パスまたは式:** ディレクトリー・パスまたは正規表現を指定します。

使用可能な値には有効なディレクトリー・パスまたは正規表現が含まれます。このフィールドは必須です。

有効な式の詳細については、[HTTP サーバーの正規表現の表記](#)を参照してください。

注: このヘルプには、対応しているタブに使用できるすべてのフィールドおよび値が説明されています。

選択されたサーバー・エリアのコンテキストに基づいて、タブはフィールドおよび値のサブセット構成のみ可能です (いくつかは、特定のコンテキスト内でのみ有効です)。

詳細については、[HTTP サーバー \(powered by Apache\) の基本ディレクティブ、コンテキスト、およびサーバー・エリアの概念](#)を参照してください。

URLマッピング (別名処理)

The screenshot shows the IBM Web Administration for iSeries interface. The main window is titled "HTTP サーバー管理 iSP3 - Microsoft Internet Explorer". The address bar shows "http://XXXXXX2001/HTTPAdmin". The page title is "IBM Web Administration for iSeries". The navigation tabs include "セットアップ", "管理", and "拡張 | 関連したリンク". The current view is "HTTP サーバー". The server is "WEBSERVER - Apache" and the area is "グローバル構成".

The "URL マッピング" dialog box is open, showing the "別名" (Alias) tab. The dialog has a title bar "URL マッピング" and a subtitle "ホスト・ファイル・システム・マッピングへの URL". The "別名タイプ" (Alias Type) is set to "スクリプト別名マッピング" (Script Alias Mapping), which is circled in red. The "URLパス" (URL Path) is "/rpgx2/(*)", and the "ホスト・ディレクトリーまたはファイル" (Host Directory or File) is "/QSYS.LIB/RPGX2.LIB/\$1".

別名タイプ	URLパス	ホスト・ディレクトリーまたはファイル
例 別名	/icons	/QIBM/ProdData/HTTPA/icons
例 スクリプト別名	/cgi-bin/(*)	/www/webserver1/cgi-bin/\$1
<input checked="" type="radio"/> スクリプト別名マッピング	/rpgx2/(*)	/QSYS.LIB/RPGX2.LIB/\$1

The dialog box has buttons for "OK", "適用" (Apply), "キャンセル" (Cancel), and "プレビュー" (Preview).

別名処理のヘルプ

別名

「別名」タブでは、ユーザーのサーバー・ファイル・システムに URL をマップできます。

ホスト・ファイル・システムへの URL のマッピング:ユーザーのファイル・システムに URL をマップできます。

URL パスで始まる (%-decoded) パスを持つ URL は、**ホスト・ディレクトリーまたはファイル** で始まるローカル・ファイルにマップされます。

ディレクティブ:Alias、AliasMatch、ScriptAlias、ScriptAliasMatch

別名タイプ:この別名を文書または CGI スクリプト（あるいはプログラム）に使用するかどうかを指定します。

可能なオプションには、Alias、Alias Match、Script Alias、Script Alias Match が含まれます。

Script Alias と Script Alias Match は CGI スクリプト（またはプログラム）に使用されます。

URL パス:「別名タイプ」カラムで“別名”または“スクリプト別名”を選択している場合には、このカラムは URL パス・パラメーターです。

「別名タイプ」カラムで“別名マッチング”または“スクリプト別名マッチング”を選択している場合には、このカラムは正規表現です。

使用可能な値には、有効な URL パスまたは正規表現が含まれます。

URL パスに末尾“/”を含めた場合には、別名を展開するために、**ホスト・ディレクトリーまたはファイル**に末尾“/”が必要です。

正規表現については、[HTTP サーバーの正規表現の表記](#)を参照してください。

ホスト・ディレクトリーまたはファイル:要求された URL がマップされるディレクトリーまたはファイル名指定します。

可能な値には、有効なディレクトリー / ファイル名の組み合わせが含まれます。

注:このヘルプには、対応するタブで使用できるすべてのフィールドおよび値が説明されています。

選択されたサーバー・エリアのコンテキストに基づいて、タブはフィールドおよび値のサブセット構成のみ可能です

(いくつかは、特定のコンテキスト内でのみ有効です)。

詳細については、[HTTP サーバー \(powered by Apache\) の基本ディレクティブ、コンテキスト、およびサーバー・エリアの概念](#)を参照してください。

構成ファイルの内容

```
1 # Configuration originally created by Create HTTP Server wizard on Thu Oct 21 1
2 Listen 10.2.2.5:80
3 DocumentRoot /www/webserver/htdocs
4 Options +ExecCGI -FollowSymLinks -SymLinksIfOwnerMatch -Includes -Indexes
5 LogFormat "%h %l %u %t \"%r\" %s %b \"%{Referer}i\" \"%{User-Agent}i\"" combi
6 LogFormat "%{Cookie}n \"%r\" %t" cookie
7 LogFormat "%{User-agent}i" agent
8 LogFormat "%{Referer}i -> %U" referer
9 LogFormat "%h %l %u %t \"%r\" %s %b" common
10 CustomLog logs/access_log combined
11 LogMaint logs/access_log 7 0
12 LogMaint logs/error_log 7 0
13 SetEnvIf "User-Agent" "Mozilla/2" nokeepalive
14 SetEnvIf "User-Agent" "JDK/1.0" force-response-1.0
15 SetEnvIf "User-Agent" "Java/1.0" force-response-1.0
16 SetEnvIf "User-Agent" "RealPlayer 4.0" force-response-1.0
17 SetEnvIf "User-Agent" "MSIE 4.0b2;" nokeepalive
18 SetEnvIf "User-Agent" "MSIE 4.0b2;" force-response-1.0
19 <Directory />
20     Order Deny,Allow
21     Deny From all
22 </Directory>
23 <Directory /www/webserver/htdocs>
24     Order Allow,Deny
25     Allow From all
26 </Directory>
27 <Directory /QSYS.LIB/WRPGX2.LIB/>
28     Allow From all
29 </Directory>
30 ScriptAliasMatch ^/rpgx2(.*) /QSYS.LIB/RPGX2.LIB/$1
```

構成ファイルの内容 (FS)

```
セッションA - [24 x 80]
ファイル(F) 編集(E) 配置(V) 通信(C) 選択(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

オブジェクト・リンクの処理

ディレクトリー . . . : /www/webserver/conf

オプションを入力して、実行キーを押してください。
  2= 編集   3= コピー   4= 除去   5= 表示   7= 名前の変更   8= 属性の表示
 11= 現行ディレクトリーの変更 ...

OPT   eホ`コ`uhn、メ]h          jbホ`          属性          テキスト
_     httpd.conf                STM

                                                                終わり

パラメーターまたはコマンド
===>
F3= 終了   F4= プロンプト   F5= 最新表示   F9=テu]n` の複写   F12= 取り消し
F17= 位置指定   F22=ホア-En` 全体の表示   F23=eホ`コ] 続き

MA a 英数 半角 A 10/002
```